

平成25年度 第3回 硬組織疾患ゲノムセンターセミナー

硬組織疾患ゲノムセンターの連絡会議に併設して、内外の研究者をお招きしてご講演いただく「硬組織疾患ゲノムセンターセミナー」を開催しています。今年度第3回は、分子発生学分野の井関祥子先生にご講演をお願いしております。ぜひご来聴下さい。

講師： 大学院医歯学総合研究科 顎顔面頸部機能再建学系
顎顔面機構制御学講座 分子発生学分野 教授
井関 祥子 先生

日時： 平成25年7月30日（火）18時00分～18時40分

場所： MDタワー23階 共用セミナー室2

演題： FGFシグナルの骨芽細胞における機能の解析・*in vivo* モデルを用いて・

内容： 線維芽細胞増殖因子受容体(FGFR)は骨芽細胞に発現し、また FGFR 遺伝子における変異は先天性骨格異常症候群を示すことから、FGF/FGFRシグナルは骨芽細胞の分化や成熟などの機能に関与することが示唆されている。

FGF リガンドの中の FGF2 と FGF18 をマウス胎児頭蓋冠骨に *in vivo* で作用させると、FGF18は骨形成ドメインを拡大して石灰化を亢進し、FGF2は骨形成ドメインを不明瞭、もしくは消失させた。この相反する作用は、生後マウスの頭蓋冠骨再生の系においても認められた。この相反する作用のメカニズムについての検討結果、および今後の研究について紹介したい。

連絡先：硬組織疾患ゲノム構造解析部門（分子細胞遺伝） 林 深（内線 5821）